

ボランティア募集 & イベント情報

この夏、いちばんどきーンとするイベントです
つるみサマーフレンド

障害児と接するのは難しそう...でも、そんな不安も始まったら吹き飛びます。この夏、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしませんか。

【内容】障害のある子ども(小1~高3)と遊ぶ

【対象】高校生以上

【謝礼】1日につき1,000円

【申込】希望するコースと研修参加の可否、氏名・住所・電話番号・メールアドレス・年齢・学校名と学年または職業、応募動機を書いて電話またはメールでサマフレ専用メール: summerfriend@yturumi-shakyo.jp

【締切り】6月21日(水)必着。応募多数抽選

●ボランティア研修・子どもとの顔合わせ会: 7月15日(土) ●結果通知は7月3日(月)頃 ●集合・解散時間は、活動時間の前後30分程度の予定 ●活動開始前の打合せ、終了後の反省会もあり

コース	月日	活動時間	会場	内容	ボランティア定員
研修会	7/15 土	13:30~予定	鶴見区社協	ボランティア研修会 コースメンバー顔合わせ	
1	7/21 金	10:00~14:00	ふれ〜ゆ	プールに行こう!	4
2	7/26 水	10:00~15:00	馬場地域ケアプラザ	アッコ先生のリトミック♪ お買い物をしてパフェ作りをしよう!	10
5	7/27 木	10:00~15:00	鶴見市場地域 ケアプラザ	冷やしうどんづくり&たのしい縁日	10
6	7/28 金	13:30~16:00	總持寺	總持寺で、お坊さんと遊ぼう!	15
7	7/29 土	10:00~15:00	矢向地域ケアプラザ	エアロビクスでからだを動かそう! &シルクフラワーでペンダントづくり	8
10	8/2 水	10:30~12:30	生麦地域ケアプラザ	車いすの子や親同士も ゆったりりのんびりコース♪	8
11	8/7 月	10:00~15:00	潮田地域ケアプラザ	おにぎり作り、ダンスを踊ろう!	12
12	8/10 木	9:00~15:30	ワークサポートセンター アンジュ(戸塚)	パン屋さんにお出かけ&パンづくりをしよう!	8
13	8/11 金	10:00~15:00	駒岡地域ケアプラザ	駒岡の畑で野菜をとって、カレーとデザート作り! ペットボトルけん玉、オリジナル風鈴を作ろう!	8
14	8/17 木	9:30~12:00	鶴見川漕艇場	爽快な競技! ボートを体験してみよう!	10
15	8/18 金	10:00~14:00	ふれ〜ゆ	プールに行こう!	4
16	8/23 水	9:45~16:00	三浦ふれあいの村	マイクロバスで三浦ふれあいの村へ! バーベキューをしよう!	10

※3・4・8・9コースではボランティアの募集はありません。

2017年度ブラインドメイト入門・基礎講座
～視覚障がい援助ボランティア入門講座～(拡大写本・音声訳活動)

☆入門講座の後、それぞれの活動の基礎講座へとつづきます。

【日時】

- ・入門講座 6月30日、7月7日(金曜日全2回) 10:00~12:00
- ・拡大写本基礎講座 7月14日~28日(金曜日全3回) 13:00~15:00 ※テキスト代及び資料代300円
- ・音声訳基礎講座 9月5日~10月10日(火曜日全6回) 10:00~12:00 ※テキスト代及び資料代1000円

【場所】鶴見区福祉保健活動拠点(地図参照)

【申込・問合せ】6月12日(月)からFAXかハガキで住所・氏名・年齢・電話(FAX)を書いて 〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-37-37リオベルデ鶴声2階 社会福祉協議会「ブラインドメイト入門・基礎講座」あて ☎ 504-5619 ☎ 504-5616

主催: 鶴見ブラインドメイト「ワルツ」

共催: 横浜市鶴見区社会福祉協議会

手話サークルバラの会
「小・中学生向け手話入門講座」参加者募集!

【日時】7月29日、8月5日(土曜日全2回) 18時~20時

【場所】鶴見区福祉保健活動拠点(地図参照)

【対象】小学生、中学生(親子参加可)

【申込】住所、氏名、学年と連絡先をお知らせください。

植木まで ☎ ☎ 581-1829

メール: aki.pado4595@opal.ocn.ne.jp

【締切り・定員】7月15日(土)・20名・受講料無料

初心者大歓迎! 手話サークルf-net
「今日から使える手話入門講座」参加者募集

【日時】9月14日~11月9日(木曜日全8回)18:30~20:30※11月2日は休み。

【場所】鶴見区福祉保健活動拠点(地図参照)

【受講料】初回時に1,000円、以後無料 ※テキスト代含む。

【申込】住所、氏名、電話番号を明記の上、お気軽にご連絡ください。

中山: ☎ 090-7943-6356 メール: boomanadoor@docomo.ne.jp

丸井: ☎ 044-222-3310

【締切り・定員】7月31日(月)必着・20人

親子がホッと一息入れられる
「はなはなお出かけひろば」オープン! <鶴見区社協との共催事業>

- ・0歳~未就学児とその親(養育者)ならだれでも利用できます。
- ・親子で楽しめるイベントも企画します。
- ・育児などで困ったことがありましたらスタッフがご相談に応じます。

【日時】7月14・21・28日(金)、8月23・30日(水)、9月8・29日(金) 10:00~12:00
※10月以降は追ってお知らせします。

【場所】鶴見区福祉保健活動拠点(地図参照)

【問合せ】「はなはなひろば」鶴見区生麦 5-8-24 ☎ 567-8700 メール: hana2@zg.netyou.jp



鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/>

「表紙クイズ」&愛読者アンケート

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、6月30日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は②駒岡地域ケアプラザ、応募者数は37名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。※「表紙クイズ」応募に関わる個人情報、当選者への賞品発送と「福祉つるみ」紙面作成の参考のみ利用いたします。

鶴見区社会福祉協議会

「福祉保健活動拠点」

〒230-0051 横浜市鶴見区
鶴見中央4-37-37 リオベルデ
鶴声(かくせい)2階
☎ 504-5619 ☎ 504-5616
Eメール: info@yturumi-shakyo.jp



編集委員/ 河西英彦・中村啓子・蔵本美佐子・桑島主税・佐藤智宏

福祉 つるみ 84 点字・録音版も!

【第84号】2017年6月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616

つるみの 特集 子どもを見守る人たち



学習・生活・スポーツを通じて

表紙クイズ ここは鶴見のどこの空? 応募方法はウラ表紙をご覧ください
北寺尾にある明治開校の小学校です。
①旭小学校 ②馬場小学校 ③上寺尾小学校
撮影日:2017年4月23日



こどもの居場所 + 見守る人たち

※今回で紹介したさまざまな取組についてのご感想、お問合せは、鶴見区社協へ
Tel: 504-5619 Fax: 504-5616
Mail: info@yturumi-shakyo.jp

学習や生活、スポーツを通じて小中学生を見守る取組が広がっています。
「将来は〇〇になりたい」。「勉強が楽しくなった」。「自分も甲子園に行ってみよう!」。
時間を重ねて関わっていく子どもの成長と希望は言葉にもあらわれ、見守る人たちの大きな支えになっています。

勉強を通じて

兄、姉のような大学生ボランティア

平日の夜、地域ケアプラザに中学生が通ってきます。試験結果をもとに苦手な部分を復習し、参考書やドリルを使って勉強をするためです。高校受験も視野に入れ、学習を中心に中学生の歩みを支えます。

先生役は、区内にある大学に通う学生を中心に35人。生徒から見ると兄や姉にあたる年齢。勉強しながら「きょう、学校でね…」と話し始める子どももいるそうです。

生活を通じて

勉強と食事をして過ごす

施設を運営する団体職員のほかに勉強をみる学生、調理担当の地域の人が週1回、中学1～3年生6人を迎えて勉強し、食事をとる学習支援教室。子どもにとってここは、肩肘張らずに済む居場所。

家族や学校の仲間とのコミュニケーションが苦手な子ども、自分自身をそのまま受け入れるスタッフの姿勢に少しずつ変化を見せ、態度や言葉遣いとは裏腹にしっかり歩んでいこうとしている姿に手ごたえを感じるというスタッフ。

「将来、〇〇してみたいんだ」。ある子どもが発した一言に、待ち望んだ瞬間が訪れた、と喜びを感じたそうです。

勉強を通じて

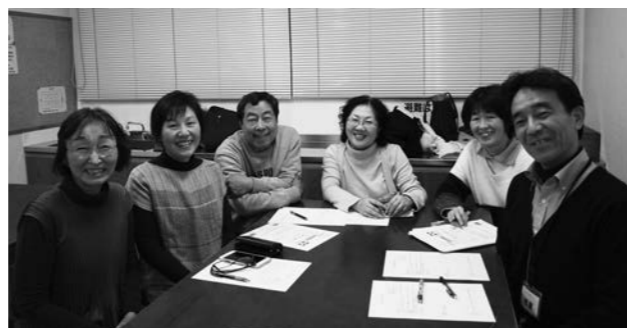
地域の大人との接点にもなる自習室

平日の放課後、ロビーに小中学生が目立つ地区センター。会議室をオープン自習室として開放し、小学生や試験勉強中の中学生に利用を呼びかけています。子育て支援団体の代表、兼子潤子さんは「自習室は見守り第一、利用する子の自主性を大事にしています。ここに来ることで大人との接点ができ、友達と一緒に勉強するきっかけになれば」と話します。近くにある高校の生徒が中学生に教えることもあります。ボランティア登録している人が参加することもあり、子どもが望めば指導を受けることもできます。



勉強を通じて

子どもと大人が一緒にいることの大切さ



月2回、夜6時を過ぎると鶴見市場地域ケアプラザ「ゆうづる」の一室に、地元中学に通う子どもが集まる学習会。主任児童委員をはじめ、主要教科それぞれの得意なボランティアが宿題や復習問題を中心に勉強をみます。ボランティアは7人。成績や試験の点が上がると子どもたちはうれしさを表し、自信もつけていく。勉強だけでなく、子どもと地域の大人と一緒にいる時間も大事。その思いがボランティアから伝わってきます。現在、ボランティアを募集中だそうです。

スポーツを通じて

子どもは大切な地域の一人



小学1年～6年生の男女40人が所属する別所ベアーズは区内屈指の少年野球チーム。学年別の指導、試合に付添うのは監督・コーチ、父母の皆さん。ベアーズを卒業して大人になり、コーチとして戻ってくる人もいます。創部以来、チーム運営に携わる加古邦夫さんは「いつの時代も子どもたちを見守るのは地域の大人の役目」と言います。挨拶やグラウンドでの礼儀はもちろん、祭に参加するなど地元の行事を通じて子どもたちを“地域の一人”に育て、町内の人たちに応援されるチームになるのが目標とも話していました。

善意銀行

くらしに、まちに、
あなたのお金が生きている

金銭寄付者 (敬称略・順不同) ●公益社団法人鶴見法人会女性部会 ●東寺尾商品開発部 ●鶴見区自治連合会婦人部 ●潮田地区センター ●鶴見薬剤師会 ●潮田町二丁目町会 ●滝口房枝 ●特定非営利活動法人あしほ ●匿名(2) ●駒岡地域ケアプラザ ●公益社団法人鶴見法人会厚生委員会 ●土屋きみ子
物品寄付者 (敬称略・順不同) ●吉兆グループ(2) ●匿名

平成29年1月～3月
()内は期間内の寄付回数

寄付の方法

- ①区社協窓口への持参 (月～土 9:00～17:00)
 - ②銀行振込
- ★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫
鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人
横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤 学(イトウ マナブ)

●「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。●「福祉つるみ」では広告を募集しております。
●一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。●次号(第85号)は平成29年10月1日発行です。